

耳鼻咽喉科研修プログラム

I 一般目標 (GIO)

耳鼻咽喉科領域の主にプライマリーケアに対処できるようになるため、耳鼻咽喉科の基礎的知識・手技、特に耳鼻科救急疾患の対処方法を身に付ける。

II 行動目標 (SBO)

- * 耳鼻咽喉科の正しい所見が取れ、適切な治療計画を立てられる。
- * 患者、家族と適切なコミュニケーションが取れ、十分な説明と同意に基づいて医療が遂行できる。
- * 標準的な医療を目指し、ガイドライン、EBM が理解できる。
- * 指導医のもと担当患者を受け持ち、治療に参加し周術期管理を適切に行うことができる。
- * 各種の検査を理解・習得し、診断と治療に役立てることができる。
- * 患者と家族に診断と治療法を説明し、予後についても理解させることができる。
- * 耳鼻科救急疾患に対し適切に対処できる。
- * コメディカルと協調し業務を遂行できる。

III 方略 (LS)

- * 診療業務：指導医の元、患者の診療にあたり多くの疾患の診療を経験する。
- * 病棟業務：病棟では指導医の元に様々な疾患を経験し理解する。患者や家族の訴えにも細心の注意を払い適切に対応する。退院時にはサマリーの記載をする。
- * 外来業務：初心患者の間診を十分に行い必要な情報を聞き出し記載する。また上級医の診察に同席し診断の進め方、治療法の説明など実際の診察方法を見て学ぶ。
- * 手術：手術に助手として参加させる。皮膚の切開縫合など基本的な手術手技を学ぶ。
- * 手技・検査等：内視鏡の手技を習得する。また顕微鏡で耳内を観察し簡単な異物除去等を習得させる。また鼻出血の止血方法や急性炎症性疾患の対応を習得する。